



令和3年度筑西市家庭教育だより

家庭教育のチカラ No.3

令和3年12月21日発行



令和3年も残すところわずかとなりました。園や学校にとっては、休校から始まり若干短い2学期となったところも多いのではないのでしょうか？しかしながら、新型コロナウイルスの感染者数が減少したおかげで、各所で行事や催しも行われているようです。徐々にいつもの日常がもどりつつありますが、さらなる状況の回復に向けて感染対策を続けましょう。

筑西市の皆様が、家族そろって良い年を迎えられますよう心よりお祈り申し上げます。

家庭で考えよう！～身近なことからSDGs～

近年 SDGsという言葉が様々な場面で聞かれるようになりました。国際連合が提示した、持続可能な社会を実現するために設けた、17の開発目標のことで、(サステイナブル デベロップメント ゴールズ)の略となります。先進国、途上国ともに国際社会全体で、『誰一人取り残さない』社会をつくるための目標となります。

こうして国際的なものとなると、とても遠いところの話に聞こえてしまいますが、私たちが日々の生活の中で協力できることがあります。住みよい世界、未来の地球について考える機会にするために、1人1人ができることを実際に試してみたいはいかがでしょうか？

家庭でできるSDGsの例

《ゴミの量を減らす取組みから考える。》

一か月に出るごみの量をできる限り減らして、量を比べてみる。

例えば……**1ヶ月で40ℓゴミ袋何個分の削減ができたか？**

《実際の取組み》

- ・必要な量や物を考え、買いすぎない。・まだ使える物ならばリサイクルする。
- ・資源の再利用のために分別する。・料理を作りすぎない。生ごみは肥料に。

《その他のテーマでも》

電気や水の消費量を減らす。家族全員で家事分担を考える。いじめや差別について家族で話し合う。……等。



家族みんなで大掃除！

年末といえば大掃除の季節です。大掃除は、平安時代の宮中行事『煤払い(すすはらい)』を由来とした風習で、もともとは12月13日に行うものを指すようです。年の暮れに一年の汚れを落とし、新しい年を迎えるための行事として親しまれていますね。冬休みでお家にいるお子さんも一緒に、家族みんなで大掃除をしてみませんか？掃除などの家事をお手伝いすることは、子どもの成長にたいへん良い効果がありますのでいくつか紹介します。

お手伝いは子どもを褒めるきっかけづくり

- 自分の役割ができ、家族の一員であることを実感できます。
 - 家族の役に立っているという経験は、子どもにとって大きな自信となり、やらなければという責任感も芽生えます。
 - 喜ばれ、ほめられることで「もっと何かしてあげたい」と考えるようになり、人の気持ちを思いやることができるようになります。
 - 仕事の大変さが分かるようになり、親への感謝の気持ちが育ちます。
- (子育てハンドブックより)

こんな頼みかたをしてみましょう。

子どもの好奇心をくすぐるような頼みかたがおすすめです。新しい掃除道具を準備したり、少し難しい場所をお願いしたりすると子どものやる気が刺激されます。また、最初は一緒にやって実際にきれいになる所を見せたりするのも効果的です。窓ふきなど結果が分かりやすいものの方が、子どもに達成感を感じさせることができます。

終わったならば、必ずお互いにほめたり、ほめられたりしましょう。

掃除がすんで、すっきりした様子だけでも十分達成感を感じることができますが、さらに良いところや頑張ったことを言葉にして伝えましょう。掃除をきっかけに、「ありがとう」「すごいね」と自然に認め合うことができます。

【お問い合わせ】

筑西市教育委員会生涯学習課 (スピカビル3階)
家庭教育担当 山中・酒井

電話 0296-22-0182
メール shougak@city.chikusei.lg.jp

※筑西市家庭教育だよりは、家庭教育についての情報紙です。本紙に関するご意見・ご質問は上記【お問い合わせ】窓口にご連絡ください。